

人がつどい 未来輝く
安全・安心な庁舎



新庁舎News!

新庁舎整備状況について、毎月掲載していきます

問合せ先 総務課 ☎072-433-7073



イメージ図

新庁舎整備について、令和4年3月「新庁舎整備工事完了」、令和5年3月「現庁舎などの解体撤去および新庁舎の駐車場など外構施設の整備完了」の計画で建設工事を進めています。

工事期間中は、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



ホームページ
QRコード

7月の工事予定

6月に引き続き、建物の骨組みとなる鉄骨を組み立てる工事を
行い、7月中には組み立てが完了する計画で整備を進めています。



(6月14日撮影)

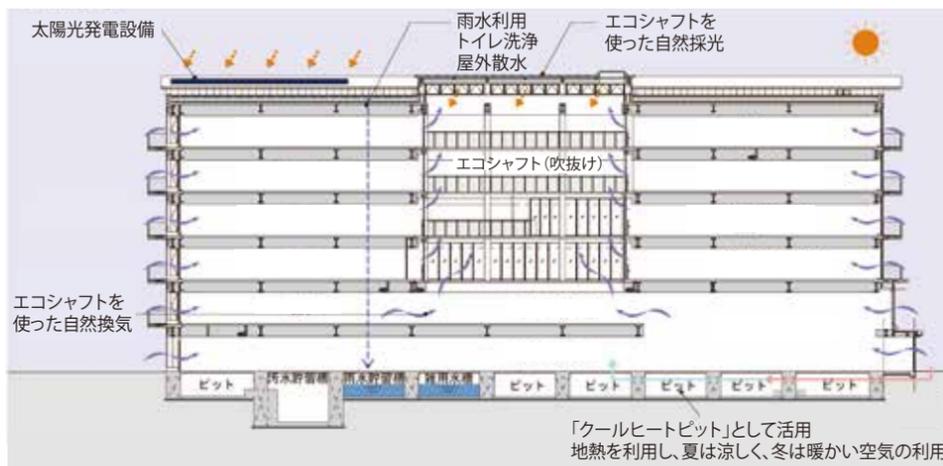


新庁舎の建物の高さは約25メートルとなっており、現庁舎の屋上までの高さ約16メートルと比べ、約9メートル高くなります。

市役所はこんなところ

自然エネルギーを活かした環境にやさしい庁舎

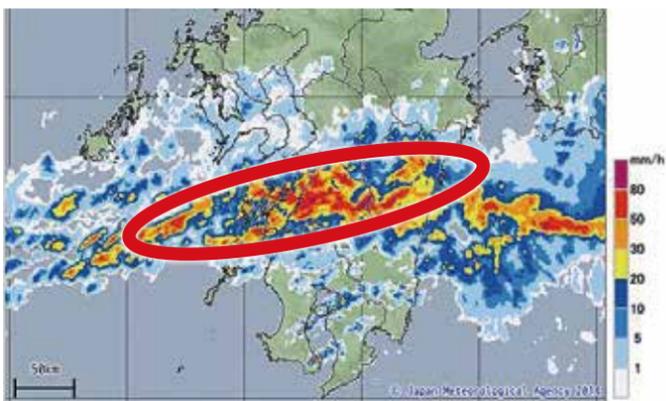
- ◆新庁舎の中央に「エコシャフト」と呼ばれる吹抜けを整備します。これを活用し、庁舎内に自然の光を取り入れるとともに換気を促進し、庁舎全体の室温を均一に保ちます。
- ◆新庁舎の床下(ピット)の一部を「クールヒートピット」として活用します。ピット内は、土の中と同様に年間を通じて温度が一定であるため、ピットに外からの空気を取り入れ、庁舎内に送ることで、夏は涼しく、冬は暖かい空気を利用することができます。
- ◆太陽光発電設備を屋上に整備し、庁内の電力の一部として使用します。
- ◆雨水をトイレの水や屋外の散水など、飲料水以外の用途に活用します。



「線状降水帯」による大雨にご注意ください!

問合せ先 危機管理室 ☎072-433-7392

近年、「線状降水帯」による豪雨災害が多く発生しています。気象庁では、6月17日から線状降水帯の発生を確認した場合に、該当地域を赤色の楕円形で示し、土砂災害や洪水の危険性が高まったことを知らせる「顕著な大雨に関する情報」の運用を開始しました。



※大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域のイメージ図です。

重要物資11品目

(5月末現在)

アルファ米(アルギ* -対応品含む)	45,750食
高齢者食	2,300食
毛布	16,415枚
液体ミルク	360缶
哺乳瓶	200本
乳児・小児用おむつ	6,260枚
大人用おむつ	1,900枚
簡易トイレ	850基
生理用品	15,000枚
トイレットペーパー	600個
マスク	109,000枚

コロナ対策物品

(5月末現在)

パーティション	1,080基
簡易ベッド	1,100基
プライベートテント	51基

市では、南海トラフ大地震をはじめとした大規模災害に對し、被災者支援のため特に必要とする食料など11品目を重要物資と位置付け、必要量を確保し、避難所であつて各小中学校と市の備蓄倉庫に分散して備蓄しています。

また、避難所での新型コロナウイルス対策として、昨年度には、パーティションと簡易ベッドを各小中学校に50基ずつ配備しています。



プライベートテント

大規模災害に備えています

問合せ先 危機管理室 ☎072-433-7392